

12月議会 議案の中から

①議案第5号 鎌ケ谷市特定疾患援助金支給条例の一部を改正する条例の制定について

国の難病医療費助成制度の対象となる疾病が306と拡大されたため、市の援助金の支給対象者の範囲を拡大するもの。

平成25年12月議会における松沢の一般質問より

Q 難病支援の現状について

A 国及び県において特定疾患治療研究事業の56疾患について、医療費の公費負担を受けることができる。鎌ケ谷市は、難病患者等の生活向上のため、難病患者等居宅生活支援事業としてホームヘルプサービス事業及び日常生活用具給付事業を行っていたが、平成25年4月1日から130疾患に該当する難病の方のサービスについて、障害者総合支援法による支援に移行している。

Q 見舞金について

A 市では57の特定疾患及び11の小児慢性疾患の治療を受けている方や保護者の経済的負担の軽減を目的として、特定疾患援助金として、15日以上の入院は月額1万円、通院は月額5,000円を援助金として助成をしている。

松沢の主張

国で検討対象とした疾病は610程あり、対象にならなかった病気が少なくない。症状の軽い患者は原則、助成を受けられないなど課題もあり、実態に合わせた見直しを行っていくことを求めています。

①議案第8号 平成27年度一般会計補正予算

○中央地区公共施設駐車場整備事業 約554万円
【財源内訳】 地方債 400万円
鎌ケ谷市の負担約 144万円

簡易アスファルト舗装からの変更や雨水浸透柵などの設置費用約554万円を追加し、総額3億3412万円の費用をかける事業である。初富駅に隣接した立地であるため、公共施設用駐車場とはいえ、利用のあり方を考慮しなければならない。

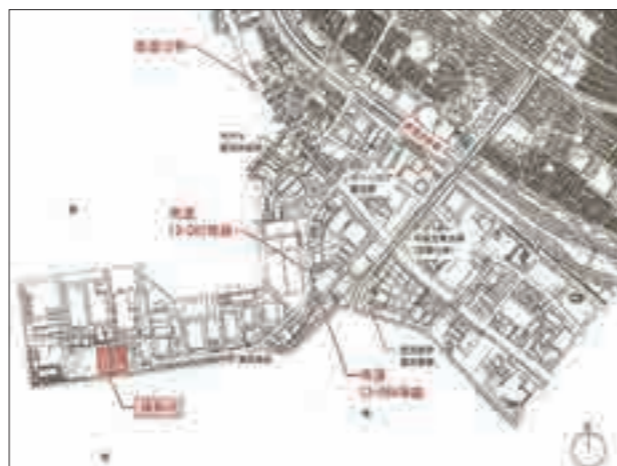


四市複合事務組合事業

船橋市・習志野市・八千代市・鎌ケ谷市で構成されている四市複合事務組合議員として、鎌ケ谷市議会から出向しています。現状と課題について報告します。

◆第2斎場計画

四市複合事務組合では近い将来に関係市の火葬需要に対応できなくなることが予想され、現状の混雑緩和を図るため、第2斎場の建設を計画している。第2斎場の建設予定地は習志野市茜浜地区であり、現在、衛星処理場と残土置き場として利用されている約25000㎡の土地である。海浜の埋め立て地であり周辺には大規模な物流センターや工場施設が近接している。周辺企業の車両や斎場利用者の交通安全対策を講ずる必要がある。



◆馬込斎場

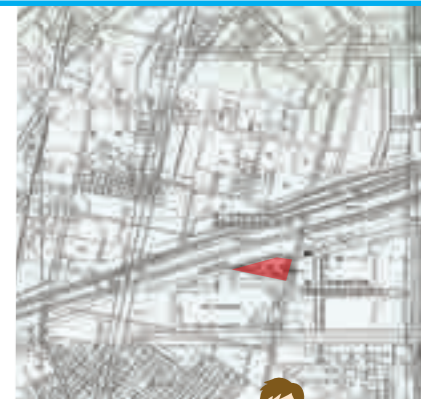
昭和25年に民営で設置したものを昭和49年に買収した施設であり、昭和55年から馬込斎場として業務を開始し、平成16年度に火葬炉3基や控室等、施設整備を実施。15基ある火葬炉のうち、12基は昭和55年に整備した火葬炉を使用している。施設は建設から約35年が経過し老朽化が進んでおり、今後見込まれる火葬需要への対応など、多くの問題や課題を抱えている状況。習志野市に建設予定の第2斎場の稼働をめどに、施設のリニューアルが求められている。



お知らせ

新鎌ケ谷駅近くに産婦人科が開院予定

鎌ケ谷市内にある産婦人科は約10年前に4カ所あったが、現在は3カ所。そのうち2カ所は分娩の取扱いを休止しているため、出産ができる産婦人科は現状では1カ所である。この度、鎌ケ谷総合病院の隣接地に産婦人科が開院する予定。



平成27年6月議会における松沢の一般質問より

Q 鎌ケ谷市民が出産する区域について

A 平成26年度、市民が出産する医療機関は市内産婦人科では15.3%、市内を含め、市外で15分以内に行ける範囲では34.6%。また30分以内で行ける範囲では37%、それ以外の地域が14.1%、県外が14.3%。

鎌ケ谷市の出生数と出生率	出典「千葉県市町村別5歳階級合計特殊出生率より」				
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
出生数	965	922	942	878	856
出生率	1.39	1.33	1.38	1.33	1.33



市内で出産することができる産科が1カ所しかない現状を改善する必要があると以前から指摘してきたが、開院する運びとなったことは非常に嬉しいことであります。子どもを産む環境が整う今後は不妊治療や多子世帯へのサポート等、さらなる子育て支援に取り組む必要があります。

松沢たけひとの活動



10月27日

ラジオニセコに出演
昨年に鎌ケ谷スタジアムで北海道ニセコ町デーが開催され、観戦に赴いた松沢とニセコ町関係者との懇談から訪問するキッカケとなりました。また、ニセコ町を訪れる際に、ラジオ出演させていただき、鎌ケ谷産の梨、ふるさと産品の梨ワイン、梨ワインケーキ、梨酢を紹介しました。



11月28日

かまがや市民活動フェスタでの市民相談
きらり市民会館にて開催された「かまがや市民活動フェスタ」は市内で活動する団体による体験コーナーや相談コーナー、ステージ発表やパネル展示を通して、団体と交流することができるイベントです。今回は出展した鎌ケ谷ふる里創生会のゲストとしてまちづくりよろず相談を行いました。

ちのバテレ



2月13日(土) 10時30分放送

ちバテレビ ビジネスフラッシュ出演

「ビジネスフラッシュ」は企業の経営者の哲学、思い、価値観や注目のビジネスモデルを取り上げる経済ドキュメンタリー番組です。この度、松沢たけひとがゲストとして出演し、節句人形の歴史や伝統、鎌ケ谷市推進するキャリア教育やインバウンドの地域貢献について語らせていただきました。ぜひご覧ください。

松沢たけひと プロフィール



- 昭和 50年 鎌ケ谷市東中沢で誕生
- 昭和 57年 みちる幼稚園卒園
- 昭和 62年 鎌ケ谷市立中部小学校卒業
- 平成 2年 鎌ケ谷市立第四中学校卒業
- 平成 5年 県立白井高等学校卒業
- 平成 10年 中央学院大学法学部法律学科卒業
- 平成 18年 (株)人形工房 武人 設立 代表取締役
- 平成 19年 鎌ケ谷市議会議員 初当選
- 平成 23年 鎌ケ谷市議会議員 再選 (2期目)
- 平成 23年 都市・市民生活常任委員会委員長
- 平成 24年 千葉県指定伝統的工芸品に認定
- 平成 27年 鎌ケ谷市議会議員 再選 (3期目)

私、松沢たけひとは40歳と会派政友会の中では最年少ではありますが、鎌ケ谷市議会議員の一人として、市民の皆様信頼され、そして、期待に応えられるよう行動してまいります。

一般質問 鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

少子高齢化と人口減少という観点から、日本全国の自治体において地方創生に取り組んでいる状況です。本来の地方創生の実現を図るためには、市は市でできること、県は県でできること、日本国は日本国でできること、補完性を保ちながら、連携して取り組むことが必要ではないでしょうか。

Q 鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要について

A 鎌ヶ谷市人口ビジョンに掲げた将来人口を達成するため、平成27年度を初年度とする今後5年間のまちづくりの基本目標と施策の基本的方向、具体的な施策を定めるもの。基本目標の1つ目は人々が交流、定着する魅力あふれるまちづくり、2つ目は若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえるまちづくり、3つ目は働きたいという希望をかなえるまちづくり、4つ目はあらゆる世代の誰もが安心して暮らせることができる支え合い、つながり合う地域づくりを基本目標として掲げている。

Q 主な重要業績評価指標設定について

A 具体的な施策のそれぞれに対して5年後の目標値である重要業績評価指標設定をしている。主な重要業績評価指標について一例では、観光の振興では観光入り込み客数を31万人とすることや、平成27年4月に達成した待機児童ゼロを継続していくための対策として保育園利用定員数を1,415人まで増加すること、また市の特性に応じた企業立地の促進では6件の誘致を実現するなど、基本目標ごとに掲げている。



Q 女性や若い世代の意見の反映について

A 市民の結婚、出産、子育てに対する意向を把握するため、市内在住の16歳から45歳までの市民を対象に無作為抽出により3,000名を抽出し、アンケート調査を実施した。また、案を策定後、外部の有識者が委員として参加する鎌ヶ谷市総合戦略等検討委員会において、保育施設や子育て支援事業等の利用者に対し、情報提供や相談、助言を行い、子育て世代とのかかわりが深い子育て支援コーディネーターの方から意見をいただいている。

Q 鎌ヶ谷市の目指すべき将来の方向性について

A 1点目は、鎌ヶ谷の未来を担う若い世代の希望を実現として出生率の向上、2点目は人々が集まり、住まう魅力あふれるまちの実現として人口の流入増、3点目はいつまでも安心して暮らすことのできるふるさとの実現として暮らしやすい社会づくりの3点。そして、これら3つの方向をもとに様々な分野にわたる取り組みを長期に実施することで、子供からお年寄りまであらゆる世代がいつまでも安心して暮らし、活気と魅力あふれるまちとなるよう目指す。



Q 費用と推進していく体制について

A 特色ある市の創生に向け、平成28年度予算編成の中で鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置づけている新規や拡充事業について重点政策要求枠を活用し、予算化していくことで事業の推進を図る。さらに、国が来年度予算にて創設を予定している地方創生を進化させるための新型交付金について積極的に活用することで、総合戦略に位置づける4つの基本目標の達成を目指す。

松沢の主張

人口ビジョン及び総合戦略はそれぞれの市町村が実施する計画であり、鎌ヶ谷市は鎌ヶ谷らしさのあるまちづくりを進めながら魅力ある自治体運営を行っていく必要があります。人口減少下においては、観光や新産業創出といった施策についても、近隣の自治体間の連携が重要になるのではないのでしょうか。



鎌ヶ谷市の入札・契約について

市は道路や河川、公園や学校、公民館等々、あらゆる公有財産を持ち、社会資本のインフラを整備、維持しながら行政サービスを継続的に実施しています。持続可能な行政運営を行っていくためには、民間企業、団体が請け負う公共工事の品質確保という観点も重要と考えます。

Q 落札率と発注件数について

A 入札件数の最も多い建設工事を例に、平成24年度は、落札率の平均は84.4%で、発注件数は71件。平成25年は、落札率の平均は90.7%で、発注件数は141件。平成26年度は、落札率の平均は90.9%で、発注件数は148件。

Q 最低制限価格の設定について

A 建設工事の予定価格は、千葉県積算基準等に基づき設計金額を算出し、その金額を予定価格としている。建設工事の最低制限価格は、当該価格を下回る金額を提示した入札参加者を一律に失格にすることによりダンピング受注の防止、下請業者や労働者の待遇改善を確保することなど、工事の適正な履行の確保を目的として定める価格で、平成22年4月から予定価格の80%を最低制限価格としている。

Q 最低制限価格での落札及びくじ抽せんの状況とその推移について

A 平成24年度は、入札件数54件中、34件で、くじ引きの対象となったものは32件。平成25年度は、入札件数108件中、54件で、くじ引きの対象となったものは48件。平成26年度は、入札件数122件中、36件で、くじ引きの対象となったものは28件。

Q くじ抽せんになる工事案件の傾向について

A 土木一式工事と舗装工事が多く、土木一式工事と舗装工事について平成24年度はそれぞれ41%と47%。平成25年度はそれぞれ46%と46%。平成26年度は、それぞれ67%と33%。



Q 指定管理者制度について

A 現在14の施設で指定管理者制度を導入。社会福祉施設として地域福祉センター、福祉作業所友和園、社会福祉センター。また、スポーツ施設では市民体育館、市営陸上競技場、市営野球場、市営庭球場、市営キャンプ場、東初富テニスコート、東野少年野球場、中沢みんなのスポーツ広場の8施設、コミュニティ施設として鎌ヶ谷、南初富、道野辺、中央の3つのコミュニティセンター。なお、本議会に上程している指定管理者の指定の議案において新たに導入する施設として、スポーツ施設の弓道場及びアーチェリー場の2施設。



Q 指定管理者制度の対象拡大に向けた取り組みについて

A 平成26年3月に策定した第2次民間委託等推進計画では、弓道場やアーチェリー場のほか、きらり鎌ヶ谷市民会館内の各施設などで指定管理者制度の導入の検討を位置づけていたところ。また、毎年直営の公の施設所管課に指定管理者制度導入の意向調査についても行っている。

松沢の主張

最低制限価格の80%で複数社入札し、くじ抽せんで決まる事例がある中で、市場において変動する実勢価格を入札制度に反映することが可能な変動型最低制限価格制度や最低制限価格の算出方法も再考していく必要があるのではないのでしょうか。また、民間活力という視点でさらなる公共施設の指定管理者制度導入を図るべきと考えます。

編集後記

40歳になり、歯周疾患検診や特定健康診査、肝炎ウイルス検診の案内が来るようになりました。それぞれ自己負担が少なく検診が受けられるわけですが、受診率は低いのが実情です。今は、早期発見や治療によって、生活習慣病の発症・重症化を予防することが可能です。「いつまでも安心して暮らせる健康なまちづくり」を目指してまいります。